

GitHub 入門

木村 薫

平成 28 年 11 月 8 日

1 はじめに

GitHub 入門では、既存のリポジトリをインポートし、変更を反映させることが目標である。リポジトリ作成などは含まれていないのであしからず。

2 用語解説

リポジトリ

プログラムやソースコード、リソース (画像・音声ファイル)などを保管している場所。

GitHub

リポジトリをホスティング、つまりサーバーを提供しているサイト。無料で使えるが、機能は限られる。

Git

バージョン管理システム。最近は subversion よりも使われることが多いらしい。

3 初期設定

まず、ディレクトリを作って、そこに移動しよう

ディレクトリをつくる

```
mkdir [directory]
cd [directory]
```

次に、リモートリポジトリを取得する。

リポジトリを取得する

```
git clone [url]
```

今回の場合、[url] は <https://github.com/kaoru-k/hockey.git>。

これで、初期設定は終わり。

4 ローカルの変更をリモートリポジトリに反映させる

ディレクトリ内で、ファイルを作成したり、ソースコードを編集した場合には、それをリモートリポジトリ (GitHub 上のリポジトリ) に反映しなければならない。その手順についての説明。

4.1 ファイルやディレクトリを Git のインデックスに追加する

ファイルやディレクトリを追加したことを Git に教えないとリモートは反映されない。裏を返せば、個人的なメモを書いたファイルをディレクトリに作っても、追加しない限りは、他人に読まれることはない。

ファイルやディレクトリをインデックスに追加

```
git add [name]
```

4.2 変更をリポジトリに書き込む

インデックスに追加されているファイルやフォルダの変更をリポジトリに追加する。インデックスに無いファイルやディレクトリは変更が反映されない。

変更をリポジトリに書き込む

```
git commit -m "[comment]"
```

[comment] には、変更内容についてコメントを入れること。例えば「～.c の関数を編集した」など。commit は頻繁に行ったほうがいい。

4.3 リモートリポジトリに反映させる

commit した内容をリモートリポジトリに反映する。

ローカルのリポジトリの内容をリモートに反映させる

```
git push origin master
```

この時、GitHub のユーザ名とパスワードを尋ねられるので答える (入力を省略する方法は後述)。これで、自分が編集した内容がリモートに反映された。

4.4 リモートの変更をローカルリポジトリに反映する

リモートの変更を取り込む

```
git pull
```